名古屋工業高校で浸水体感VRを活用した防災講座を開催しました

東海豪雨20年　国土交通省　いのちとくらしをまもる 防災減災

令和2年11月9日(月)に、名古屋工業高校で『あいち　土木の魅力・未来プロジェクト』事業の一環として、(一社)中部地域づくり協会地域づくり研究所と連携し、「浸水体感VR(仮想現実)」を活用した防災講座を行いました。生徒がVRを通じて浸水を体験するとともに、今年は東海豪雨から20年目であることから、水害経験のない生徒に過去や近年の水害を通して、災害に備えることの大切さを伝えました。

○参加者
　名古屋工業高校　土木科2年生　13名
○内容
　①VR体験
　②講義(中部地域づくり協会)
　　VRの振り返り、災害事例の紹介、大雨特別警報と避難について
　③東海豪雨ビデオ
　④講義(庄内川河川事務所)
　　東海豪雨について、東海豪雨後の治水対策、近年の水災害、今後の治水対策、避難に役立つ情報

○生徒たちの感想
- 防災の大切さや災害時の行動等、多くのことを学んだ。
- ハザードマップ等の情報収集の大切さが分かった。
- 防災に関心が持てるようになった。
- 避難場所を決めておきたい。
- 普段から災害を意識し、「自分の命は自分で守る」を大切にしたい。
- 守られる側から守る側になりたい。

など

講義の様子

VR体験の様子

パネル展示の様子

除菌シートや消毒、VR用のマスク着用により新型コロナウィルス感染症防止対策を実施